

教育制度論	1年・後期	2単位 30時間	准教授 堤ひろゆき
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	37011261 37011211 (2022年度生以降)

### 1. 授業のねらい・概要

教育研究には大きく分けて二つのアプローチが存在する。ひとつは具体的な「教える・学ぶ」関係に着目するミクロなレベルでのアプローチ、もうひとつは社会システムとしての教育制度を対象とするマクロなレベルでのアプローチである。教育に関する理解を深めるためには、これらのアプローチがともに必要となる。本講義はこのうち、後者の社会制度としての教育を対象とするものである。学生が、教育制度の仕組みや歴史的変遷について学ぶことで、教育についてより立体的な考察を展開できるようになることがねらいである。

### 2. 学修の到達目標

1. 教育制度に関する基礎概念や現代的課題について学術的に通用する言語を用いて表現できる。  
(D-1)
2. 現代の教育問題について、制度的な観点から学術的に通用する言語を用いて表現できる。(D-5)
3. 具体的な地域社会に存在する学校を支える制度を学術的に通用する言語を用いて表現できる。  
(D-3)
4. 学校をより安心で安全にするための取り組みを制度的な観点から学術的に通用する言語を用いて表現できる。(D-3)

### 3. 授業の進め方

レジュメおよび資料を配布し、基本的には講義形式で進めていく。また具体的な教育実践を扱った映像資料なども適宜織り交ぜていく。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、調査学習、グループワーク、対話・議論型授業を用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員間での学習に関するコミュニケーションの機会。

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	講義の概要	講義	予習：「教育制度」に関わると思われるニュースを読み、調べておく。 復習：イリイチの思想を自分でも調べ、現在の日本の教育制度の問題について考えをまとめる。	堤ひろゆき
2	憲法と教育基本法①：憲法の理念	講義	予習：日本国憲法を再度確認し、教育に関わる条項を抜き出してその理念をまとめる。	堤

			復習：「教育を受ける権利」「義務教育」に関して教師が負うべき義務をまとめる。	
3	憲法と教育基本法②：教育基本法の理念	講義	予習：2006年の教育基本法改正に至る経緯を調べておく。 復習：教育基本法改正による変更点を自分の経験に即してまとめる。	堤
4	教育振興基本計画	講義	予習：学校教育法，教育振興基本計画についてあらかじめ調べてまとめる。 復習：体罰事例を調べ，防ぐ手段を考える。現行の教育振興基本計画を通読し，求められている内容をまとめる。	堤
5	学校の目的と目標	講義	予習：学校種ごとの目的を学校教育法から抜き出してまとめ，相互の関係を考察する。 復習：予習および講義をふまえて，目的達成のための制度的規定を整理してまとめる。	堤
6	学校の組織	講義	予習：自分の経験から，「校長」「教頭（副校長）」「教諭」の仕事内容をまとめる。 復習：それぞれの職について職掌範囲を整理しまとめる。	堤
7	学校評価制度①：学校評価の種類と現状	講義	予習：既習の「教育における評価」の概念を復習しまとめる。 復習：学校組織に対する評価の仕組みを整理し，実施上の利点と欠点をまとめる。	堤
8	学校評価制度②：家庭・学校・地域の連携	講義	予習：「学校を評価する」ことについて，自分自身の経験をまとめる。 復習：家庭・学校・地域が評価によって円滑なコミュニケーションを取るための方策を考えまとめる。	堤
9	学校選択制①：日本の事例	講義	予習：「学校選択制」について調べておく。 復習：出身地域または任意の「学校選択制」実施自治体を取り上げ，制度の仕組みを整理してまとめる。	堤
10	学校選択制②：イギリスの事例	講義	予習：1980年代の新自由主義について一般的な理解を調べる。 復習：競争原理の導入による教育の質向上の論理をまとめ，実態と比較する。	堤
11	学校安全への制度と取り組み	講義	予習：学校での事故を調べておく。	堤

	み		復習：学校での安全確保の制度的事項をまとめ、自分が実際に何をしなければならないかを考える。	
12	教育委員会制度	講義	予習：「教育委員会」に関する報道を調べ、まとめる。 復習：教育委員会制度の理念と現行の運用をまとめ、出身地域または任意の教育委員会をインターネットで調べる。	堤
13	全国学力テスト	講義	予習：自分自身の経験から、定期試験等をのぞく「学力調査」を思い出してまとめる。 復習：過去3年分程度の「学力調査」結果を調べ、傾向を整理する。	堤
14	中央の教育行政組織と教育財政	講義	予習：文部科学省の概要を調べておく。 復習：第12回「教育委員会制度」の内容と合わせて教育行政の仕組みを整理する。	堤
15	講義のまとめ	講義	予習：あらためて「教育制度」のイメージをまとめる。 復習：受講前後での「教育制度」のイメージおよび理解の変化を言語化しまとめる。	堤

## 5. 成績評価の方法・基準

受講態度・講義中の小レポートなどによる平常点（30%）、期末課題（70%）の成績を総合的に加味して評価する。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。ルーブリック評価表に関する詳細は、講義内で別途説明する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：自作の資料を配付する。

参考文献：1) 坂田仰ほか（2017）『新訂第3版 図解・表解教育法規』教育開発研究所  
2) 土屋基規編（2011）『現代教育制度論』ミネルヴァ書房  
3) 木村元ほか（2009）『教育学をつかむ』有斐閣

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

毎回の講義を受講する前に、前回の内容を1時間30分程度復習しておくこと。さらに、毎日15分程度これまでの講義内容と関連するニュースを探し、読んでおくこと。なお、これらの準備学習には3時間以上を要する。

## 8. 受講上の留意事項

明確な目的意識をもち、教職に就くことを強く希望する学生の受講を望む。

**9. 課題に対するフィードバックの方法**

課題提出前に解答のポイントを説明する。課題後には講評を公開する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

養護教諭第一種免許状取得のための科目である。

**11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される**

該当しない。